

事業者向け 児童発達支援 自己評価表

重症児デイサービスとくとくとく

実施期間: 2024年10月～2025年1月

	チェック項目	返答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	どちらでもない	個別の活動する場所として個々の距離を1mとっているが、集団活動する際は個々の距離が集まるため空間は広く感じる。機器のお預かりを行う際は狭く感じる
	職員の配置数は適切であるか	はい	基本的に感染対策に注意しながらマンツーマンで支援が出来るようにしている
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	どちらでもない	毎日、掃除・アルコール消毒、常時換気を行っており、寒さに備えてホットカーペット等の温器具を準備している。枕等多く散乱していることがあり直す場所を準備中
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	はい	月に1回以上全体ミーティングを行っている。また定期的に個別のミーティングを行いその度出る課題に対して改善するように努めている
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	アンケート調査を行っており、感染予防も踏まえ長い時間でのイベント等を行っている
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いいえ	必要時は外部で確認しているが定期的な外部評価は行っていない
適切な支援の提供	職員の高質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	事業所内やオンラインでの研修、また喀痰吸引研修に参加している
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい	リハビリ、医療分野から専門的視線で分析して、要望に合わせた計画書を作成している
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい	フェイスシート、アセスメントシート、医療アセスメントシートを事業所に作成している
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい	保護者様からアセスメントを聴取すると共に、体験時に児童の個性・可能性を予想して、専門的視点で支援内容を設定している
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	療育は療育担当チーム、機能訓練は機能訓練士とて話して行っている
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	子ども一人一人の能力、個性に応じた方法で、支援・イベント等も変化を付けながら行っている
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	はい	個別では子ども一人一人に合わせて活動を行っている。集団では合理的配慮や環境に合わせ全体で行える活動を検討している
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	当日の予定は掲示して誰が誰の支援をするか役割分担等の見える化を図っている
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	どちらでもない	支援終了後には打ち合わせを行っていない。月に数回ミーティングを行い情報共有している。当日利用時に情報共有している
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	議事録、申し送り表に毎日記載している
	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	子どもの状態(手術後や医療ケア児)に合わせて計画の見直しをしている
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい	
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	どちらでもない	必要に応じて市の子ども医療科と協力し児童のサポートを行っている
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	はい	必要な方を優先に連携を行っている
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	はい	指示書や情報提供書を依頼したり、地域連携室に必要に応じて連絡している
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい	家族やノートを介したり、送迎時に共有している。特別支援学校の先生と情報共有を行う予定となっている
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい	特別支援学校の先生方と直接に情報共有を行う予定
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	どちらでもない	専門機関との相談会を予定している
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	はい	運動会のイベントにて交流を行った
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	参加まで至っていない
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	はい	お子さんの利用や支援等に関して個別相談を行った。その他にも、送迎時に伝達を行っている
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい	保護者から依頼を受けた時は必ず、また医療ケアによる水分調整や他機関への情報共有を行っている
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい	
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	食事、姿勢、コミュニケーション、活動内容の話をしており、専門的なアドバイスや支援を提供している
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい	運動会のイベントを通して保護者同士の連携を図ったり、その後保護者同士を繋ぎ情報共有できる促しを行った
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	スケジュール伝達が遅いことに対してご家族へご迷惑が掛からないように伝達ができるように調整を行っております。申し訳ございません
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	毎月、行事の案内等を行なっている。活動等は感染状況等を考慮して直前にお知らせしている
	個人情報に十分注意しているか	はい	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい	ご家族参加型のイベントや地域の方をお呼びしイベントを多々行った
	非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		はい	地域の方からの協力して頂き訓練等を行っている
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		はい	指示書を主治医に依頼している。服薬も必要に応じて預かってい
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		はい	動画や資料を通して研修を行なっている
どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		はい	身体拘束といった目的では行っていない。日常生活の延長で必要に応じてベルトをしている
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		はい	指示書を主治医に依頼。ご家族へ確認等行っている
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		はい	ヒヤリハットと事故報告書を作成。スタッフ全員で共有している